



ワークショップ開催のお知らせ

「今こそ」が働き方改革のチャンス

一緒に「総務」を「創務」してみませんか？

誰一人取り残さない
多様な働き方

多様性とSDGs
(持続可能な開発目標)

人員不足は多様性で
解決しよう!!

パワハラ、人事評価、
女性・若者・高齢者の活用、
ダイバーシティ経営など他の
会社はどうしているの？



IT・多様性・共生ネイティ
ブ世代の定着と活用

職場のアンコンシャスバイアスって何？
無くなると生産性が上がるの？

ワークショップの概要

第1回 職場のアンコンシャスバイアスと労務管理

日時：令和4年9月5日(月) 13:00~16:30 (受付開始 12:30)

場所：金沢駅西合同庁舎 6F 共用第1会議室

第2回 “多様性” から始める組織の健全化

日時：令和4年10月6日(木) 13:00~16:30 (受付開始 12:30)

場所：金沢駅西合同庁舎 2F 共用第2会議室

○参加対象：事業主、総務人事等労務管理ご担当者

○参加費：無料 ○定員：各回20名程度(定員に達し次第受付終了)

○お申込先：右記QRコードまたは、裏面の申込書をご記入の上、

FAXまたは郵送でお願いいたします。



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大があった場合は、中止または延期といたします。
また、感染拡大防止のため、参加者の皆様には、マスク着用の協力をお願いいたします。

問い合わせ先



石川労働局雇用環境・均等室

担当：池田、吉野、平田

〒920-0024

金沢市西念3-4-1金沢駅西合同庁舎6F

TEL (076) 265-4429 FAX(076) 221-3087

FAX 076-221-3087

石川労働局雇用環境・均等室あて

QRコードにて

お申込みの方はこちら



研修会（ワークショップ）参加申込書

ご希望のワークショップに「○」を入れてください。

	第1回 9月5日（月）職場のアンコンシャスバイヤスと労務管理		
	第2回 10月6日（木）多様性から始める組織の健全化		
事業場名			
所在地			
電話番号		FAX 番号	
参加者	（職名）	（氏名）	

事前アンケート

現在、事業場において、特に興味・関心のある項目をお聞かせ下さい。本アンケートは、ワークショップ開催のためにのみ参考とさせていただきます。お手数ですが、差し支えない範囲内でご回答をお願いいたします。

- ① 時間外労働の削減 （取り組んでいる内容、検討中のもの、相談など）

--

- ② 年次有給休暇取得促進 （取り組んでいる内容、検討中のもの、相談など）

--

- ③ 労務管理上の課題 （取り組んでいる内容、検討中のもの、相談など）

--

- ④ その他（助成金、兼業・副業、テレワークなど）

--



本ワークショップは、SDGs(持続可能な開発目標)のうち、主に目標3(すべての人に健康と福祉を)、目標5(ジェンダー平等を実現しよう)、目標8(働きがいも経済成長も)、目標10(人や国の不平等をなくそう)、目標16(平和と公正をすべての人に)、目標17(パートナーシップで目標を達成しよう)の目標にも取組みます。

<ワークショップ概要>

無意識の偏見や思い込み(アンコンシャスバイヤス)、ダイバーシティ(多様性)経営、SDGsに興味のある企業の経営者・労務管理担当者様の参加をお待ちしています。

第1回「職場のアンコンシャスバイヤスと労務管理」

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の時代、根拠のない思い込みが企業での働き方改革の促進の弊害となり、職場の人間関係を悪化させ、チームワークを阻害する要因になることで、組織や人の成長の機会を停滞させることがあります。

仕事のために子供を諦める、女性は管理職に向かない、育休を取ると出世に影響がある、若者の離職を避けたい、教育と行って行ったのにパワハラと言われた……etc

もしかしたら、無意識の根拠のない思い込みや偏見(アンコンシャスバイヤス)が原因で正しい人事評価ができていないのかもしれない。

そこで、第1回ワークショップは、事例検討や他社との交流を行いながら、職場に介在する無意識の根拠のない思い込みや偏見(アンコンシャスバイヤス)に気づき、その意識を排除することで、企業の新たな組織運営、労務管理の策定を行い、自社の労働環境の改善について話し合います。

第2回「“多様性”から始める組織の健全化」

今、まさに世界中で“多様性”の大切さが叫ばれており、企業の働き方改革はワークライフバランスからダイバーシティ経営へ移行しているといっても過言ではありません。今後は、日本においても“多様性”が組織の力となり、経営者や人事担当者だけのテーマとなるだけでなく、「All for one、One for all」の精神で企業の構成員である個々の労働者がチームワークを高め、労働生産性を向上させる要となります。

人手不足を補いたい、個々の労働者の事情を踏まえ人材を活用したい、ワークライフバランスやダイバーシティについて知りたい……etc

もしかしたら、個々の労働者の個性を活かしきれていないのかもしれない。

そこで、第2回ワークショップは、多様性とSDGs、ダイバーシティ経営に関する知識の習得、事例を検討しながらの自社の現状と課題の分析、ダイバーシティ導入計画の策定をして、誰一人取り残さない多様な働き方について話し合います。